

第63回例会

日本語教育活動における 政治的主体とは何か

松島 調
まつしま なり

www.narifis.com →



松島 調 自己紹介(1)

- 日本語教師非常勤

早稲田大学

東京電機大学

武蔵野大学大学院

横浜市立大学



TM / © Sesame Workshop. All Rights Reserved.



松島 調 自己紹介(2)



日本語教育メディア「いどばた」の
『日本語教師の履歴書』コーナーに
私は如何にして日本語教師となった乎、イン
タビューを受け、掲載！



日本語教師の履歴書
Nari_Matsushima_Vol.5_2019

松島 調

vol.5 「『人生どないしょ』から、『これで食べていく』へ」 松島調さん

<https://www.idobata.online/?p=1513>

松島 調 自己紹介(3)

- 一般社団法人日本語教育支援協会 代表理事 www.jalesa.org
 - J-CAT
 - R 統計 & KH Coder テキストアナリシス講習会
 - 【夏】石垣島 🌺 🌴 🐟
 - 【冬】田沢湖・乳頭温泉 🔥 🧑‍❄️
 - 各種イベント
 - 「設立記念講演会」
 - 「日本語教師のアクション！」
 - 「教えない vs 教えない」



松島 調 自己紹介(4)

- 「日本語教育推進法案の早期成立を求める署名活動」 呼びかけ人
 - 実施期間:2018年12月下旬～2019年2月3日
 - 目的:日本語教育推進法案の第198回通常国会での早期成立を目指す
 - キャンペーンタグ:#すべての人に日本語を
 - 結果:14,473筆
 - 法案について
 - [概要](#)

日本語教育推進法案の早期成立を求める署名活動 #すべての人に日本語を

外国人の日本語教育を法的に位置付けるための
法律の早期成立を求めます

日本語教育の推進に関する法律の早期成立を要望する署名活動のウェブサイトです

趣旨
our vision

CHANGE.ORGで署名
online signature

google formで署名
online signature

資料
materials

法案
案

LANGUAGES

English 中文 한국어 Tiếng Việt नेपाली भाषा

2019年6月21日

本日、2019年6月21日の参議院本会議で「日本語教育の推進に関する法律案」が可決成立しました。

1. 呼びかけ人になった
2. HPを作った
3. 呼びかけた



<https://sites.google.com/view/japanese-for-all/>

署名を求めていたある時 教員室にて言われた

日本語教師1「わたしそういうのよく分からない」

日本語教師2「すご〜い」

▶ 無関係・無関心の態度

一体この世の何がこの当事者意識の無さを生み出すのだろうか

...



勝手に考えた関わらない態度の3パターン

- (1) 政治経済社会の知識を知らない。不勉強(自覚あり)
- (2) 政治経済社会の営みは遠い世界のことと無関係。(無自覚)
- (3) 政治経済社会の営みからは距離を置きたい(自覚あり)

<ワーク1>

論点1-0 自己紹介 兼 自分マッピング (知らない / 無関係 / 厭世)

論点1-a なぜ日本語教師は政治・経済・社会といった問題 に
無関心な人が多いのか。業界特有の問題か。

論点1-b 日本語教師は日本語教育のことだけに携わっていい
いいのか？ 専門外のことは語らない方がいいのか？

論点1-c 日本語教師は政治的であるべきか

日本語教育は政治的＝市民的な営みである



ならば



その市民社会を形成するのに
日本語教育はどのような貢献・関わりができるのか。


そしてそれは何故なのか。

という問いが出てくる

第2のフェーズへ



「政治的」とは？

 「選挙、投票、○○党、領土、国際関係、パワーバランス」

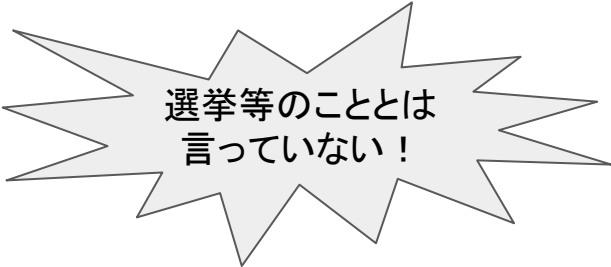
ちなみに

・D. イーストン「社会に対する諸価値の権威的配分」*The Political System: An Inquiry into the State of Political Science*.1953年、邦訳『政治体系』1976年

・小野(2000)「社会における統一的決定の作成とその履行過程の総体」小野耕二『転換期の政治変容』、日本評論社刊、2000年

・古代ギリシャ「言語を用いた対話の言論活動」

「理性の活動の主体者が政治的市民」



選挙等のこととは
言っていない！

A large iceberg floating in the ocean. The tip of the iceberg is visible above the water surface, while the much larger, jagged base is submerged underwater. The sky is blue with scattered white clouds. The water is a deep blue, and the overall scene is serene and clear.

法的市民社会

倫理的市民社会

	法的市民的社会	倫理的市民社会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 選挙、移民、労働政策 ● 日本語教育推進法 ● 法律、規律 ● SDGs ● 言語権、わたしたちの社会 ● マナー、ビジネス日本語 	<ul style="list-style-type: none"> ● なんでもいい
関連・必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報 ● 制度 	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語 = ロゴス ● 思考 ● 公共性 ● 他者を目的とする ● 対話

カント(プロイセン・ケーニヒスベルク)

1724-1804

現・ロシア領「カリーニングラード」





オスロ
Oslo

ストックホルム
Stockholm

タリン
Tallinn

エストニア

バルト海

モスクワ
Москва

リガ
Rīga

ラトビア

コペンハーゲン
København

デンマーク

リトアニア

ビルニウス
Vilnius

ミンスク
Мінск

ベラルーシ

ハンブルク
Hamburg

ベルリン
Berlin

ポーランド

ワルシャワ
Warszawa

キエフ
Київ

ドイツ

フランクフルト

プラハ

ウクライナ



法的市民的社会

外面的・強制的な法律制度

- **社会の制度としての市民社会。**
- 共同体の諸個人が従う共通の規範
- 自らの意思により自然状態から脱却
- 倫理的市民状態における共同を形成して相互に調和することを望む→強制はできない
(∵「強制」≠「倫理的共同体」)

倫理的市民社会

内面的・非強制的な道德律

- 個人主義的道德説。内面的主体性の中で形成される**理性の自己立法**
- 当人の心術次第
- 人間相互の協力・調和による道德的完成
- 倫理的共同体は**自発的意思**による
→法的市民社会の意思を超えている

倫理的市民社会はなぜ必要か

- 人間の心は善と悪の原理の熾烈な戦いの場
- 複数の個人の間でも悪に纏いつかれていて互いに墮落させる
- 個々人が善い意図を抱いていても全体を統一する原理が無いので、互いを害し合う危険性
- 倫理的市民社会 > 法的市民社会
 - 如何に法的市民的状態が発達していたとしても、倫理的に成立しているわけではない
 - 倫理的市民社会状態になるかについては外的な強制は受けない
 - 実際には法的共同体の構成員が倫理的共同体を作っている構造。
 - 法的共同体にとって倫理的共同体は必要不可欠

「人びとは活動と**言論**において、自分が誰であることを示し、そのユニークな人格的アイデンティティを積極的に明らかにし、こうして人間世界にその姿を現す。(中略)その人が「何者」(“who”)であるかというこの暴露は、その人が語る**言葉**と行う行為の方にすべて暗示されている」

p.291

「**言論**は人間を人間たらしめる」

ハンナ・アーレント『人間の条件』ちくま学芸文庫



「公共」の領域について

公的領域・・・行為と**言論**により**自らを現わ**にする

(外言的言語行動)

→ 他(者)との対話

私的領域・・・公的な光を避けて完全なprivacyの中で生活。

(内的言語行動である「思考」がある)

→ 自己との対話

倫理的市民社会が言語教育の実践で可能となるのは

それがことばの教育の場であるからである

なぜか

ことば=「思考」「公共性」=人間 ≠ 動物・機械

言論の空間が生まれ、理性的活動となる

主張

- ことばの教育で「思考」「公共性」に携わっていないものは「教育」とは言えないのではないか／ことばの教育をしているんだから、「思考」「公共性」ということに携われれば人格の育成・よい社会の形成に寄与できるのではないのか
- 日本語教育はスキルトレーニングという立場に甘んじていていいのか
- そもそも言葉の教育であるのに、その言葉の本質に迫らないものは、言葉というものに対する冒涇ではないのか

<ワーク2>

論点2-1 どう思うか

論点2-2 どのように教育実践の場に現れ得る？

論点2-3 我々は何をすべきか なし得るのか

論点2-4 このテーマに興味がない言語教育者に如何に興味を喚起させられるか

「論点2-4 このテーマに興味がない言語教育者に如何に興味を喚起させられるか」の意見

- google document ^



参考文献

1. 斎藤拓也(2019)『カントにおける倫理と政治 ―思考様式・市民政治・共和制―』晃洋書房
2. ハンナ・アーレント(1994)『人間の条件』志水速雄訳 ちくま学芸文庫 (Hanna Arendt“*The Human Condition*”1958)
3. カント(1986)『人間学・教育学』三井善止訳 玉川大学出版部 (Immanuel Kant “*über Pädagogik*” 1803)
4. ———(1998)『道徳形而上学の基礎付け』宇都宮芳明訳 以文社 (Immanuel Kant “*Die Metaphysik der Sitten*”1788)
5. ———(2000)『カント全集<10> たんなる理性の限界内の宗教』北岡武司訳 岩波書店 (Immanuel Kant “*Die Religion innerhalb der. Grenzen der bloßen Vernunft*”1793)
6. 松島調(2009)「世界市民における平和 ―カントを中心にして―」早稲田大学大学院社会科学研究科修士論文(未公刊)
7. 松島調(2014)「世界市民における日本語教育 ―思考と公共性を手掛かりに―」早稲田大学大学院日本語教育研究科修士論文(未公刊)
8. 藤本一勇(2009)『外国語学』岩波書店
- 9.

自分的まとめ in advance

- 「現れの空間」としての教室づくり
- 「何のために日本語を教えるのか」という問いを持つこと
- 常に自分自身に対しcriticalな態度でいること
- あたかも可能であるかの如く行為せよ
- 実践の中に設計する

アンケート



<https://forms.gle/zNaAUKpMxUdjctzy9>